

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年10月30日 (2014.10.30)

【公開番号】特開2014-69083(P2014-69083A)

【公開日】平成26年4月21日 (2014.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-020

【出願番号】特願2013-201682(P2013-201682)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/14 (2006.01)

A 6 1 M 5/168 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/14 3 4 5

A 6 1 M 5/14 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月12日 (2014.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

図 7 に示されるように、挿入具カバー 1 0 4 は、ブランジャーアーム 1 5 2 の半径方向内方への変位を防止する、及びそれ故に挿入具 1 0 2 の予期しない作動を防止する一対の安全構造体 2 0 4 を含んでいる。図 7 に破線で示される 1 つの実施形態によると、挿入具カバー 1 0 4 は挿入具 1 0 2 の末端部よりも底部までずうっと延びている。加えて、1 つの実施形態によると、アセンブリ 1 0 0 は、当該アセンブリ 1 0 0 の内部の無菌性を維持するために、使用者によって取外し可能な膜 2 0 8 を含んでいる。膜 2 0 8 は、使用者の膜 2 0 8 の取外しを補助するためのタブ 2 1 5 を有してもよく、そして、1 つの実施形態によると、ケースのチューブ開口 1 4 0 を覆ってもよい。1 つの実施形態によると、膜 2 0 8 を取外すことはまた、輸液セット 1 2 4 の底部の粘着パッドへのバックングを取外すことになる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

膜 2 0 8 の取外しの後に挿入具カバー 1 0 4 を取外すこととは、図 8 に示されるように、挿入具キャップ 1 0 8 の片持ち梁式の作動アーム 2 1 2 をむき出しにする。当該作動アーム 2 1 2 は、その非支持端部に作動突出部 2 1 6 を含んでいる。加えて、ブランジャー 1 2 0 と同様に、挿入具カバー 1 0 4 は、図 9 及び図 1 0 により明瞭に示されているスプリング 1 1 2 を収容するための中央突出部 2 2 0 を含んでいる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

患者が挿入具 1 0 2 を作動させる人である必要はないけれども、簡潔さ及び明瞭さのために、以下、患者が単独で作動させると仮定する。当該装置を作動させるために、患者が作動アーム 2 1 2 を圧搾すると、作動突出部 2 1 6 が、プランジャー-保持構造体 2 2 4 からプランジャーフック 1 5 6 を解放する(外す)。その後、スプリング 1 1 2 の力の下で、プランジャー 1 2 0 が作動前の位置から図 1 1 に示されている作動位置にまで移動する。

【手続補正 4】

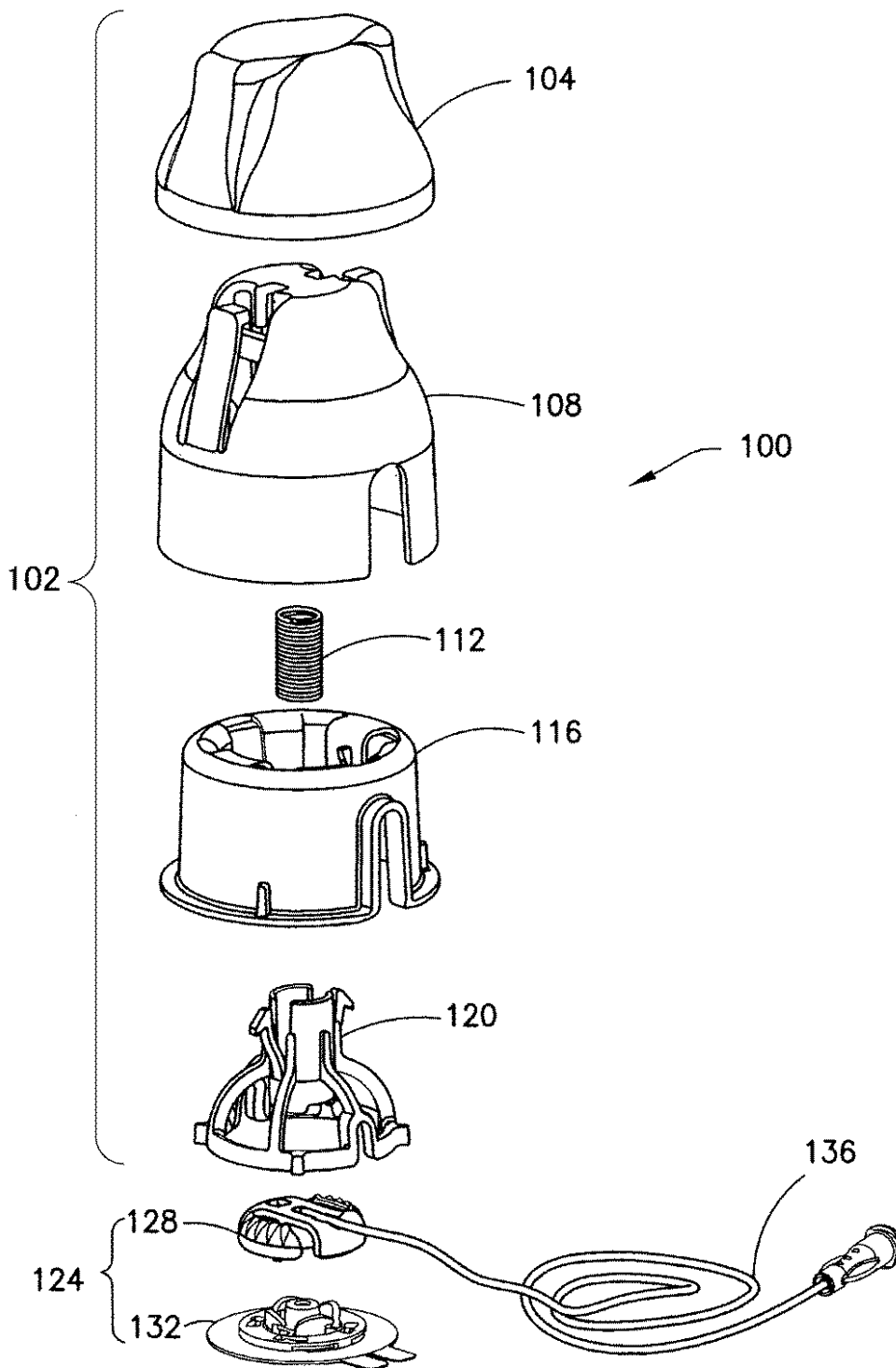
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 5】

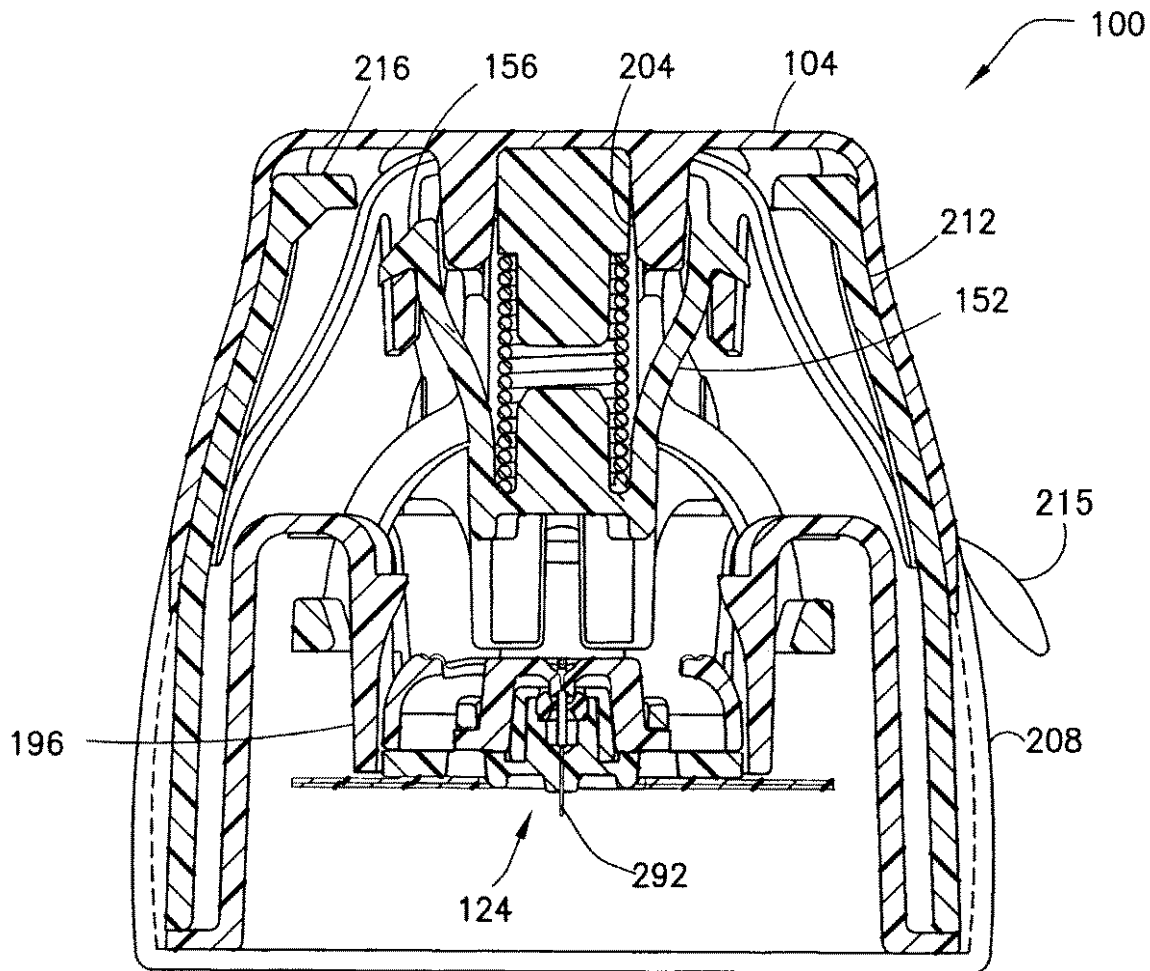
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】



【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 26】

